

# こころネット通信 第4号

発行者：NPO 法人こころネットワーク県南 〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村泉崎字下根岸9

生活支援センター「こころん」 : 0248-54-1115 FAX: 0248-53-3063

Email: [kokoron@r2.dion.ne.jp](mailto:kokoron@r2.dion.ne.jp)

## 第3回定期総会開催

5月8日(土)午前10時30分から、NPO法人こころネットワーク県南の第3回定期総会が開催されました。

議事審議に先立ち、会員総数177、出席44、委任状55の出欠報告がされ、平成15年度の事業報告及び決算報告、平成16年度事業計画及び予算、定款の一部変更等の各議案について慎重審議され、全議案が承認されました。

今年度の事業については、別紙ご案内のとおり、新規事業開拓としてのお野菜新撰組、コンサート、シンポジウム・講演会等を重点として取り組んでいきたいと考えております。特に、お野菜新撰組は、利用者の多くの方が希望されている就労の支援につながり、利用者からも大きな期待が寄せられております。夏以降に具体化する予定ですので、その際には、ご協力いただけますようお願い申し上げます。



## すてきな演奏楽しむ



交流会には、地域のボランティアさん達による手作りのお料理が並べられ、楽しい交流会となりました。その後「すずらん」のコンサートに入りましたが、センターを利用している小林茂宏さんが自ら作詞・作曲した「Goalへの道」を披露、96名の参加者全員のこころに深い感動を与え、とても素晴らしい演奏会となりました。



## こころんオープン記念コンサート

5月8日、NPO法人こころネットワーク県南の総会終了後、「生活支援センターこころん」のオープンを記念して交流会と演奏ボランティアグループ「すずらん」のコンサートが開催されました。



### ご寄付・寄贈をいただいた方

佐藤君子 宮田勝男 合名会社 塗装工芸(小河原寿夫) 西巻幸 有限会社辺見美津男設計室  
熊田芳江 熊井徳孝 ヤンセンファーマー 椎根保則

(敬称省略・順不同)

### 新しく会員になられた方

#### 正会員

九里恵美子 田崎千津子 小島良子 関根美佐子 高橋かつ子 佐々木ひろ子 塩沢カツヨ 吉田弘子  
三水照江 西巻幸 佐藤君子 高橋喜和 高橋節子 荒川修治 郷泰隆 西牧純子 有賀真雄  
宗像正子 北條平 落合優 中村敬子

#### 団体会員

日本赤十字奉仕団泉崎支部 姑娘飯店 なごみの会 西郷村社会福祉協議会



### こころんバレーボールチーム結成

### Let's play Volley ball

5月23日、会津の地で県障がい者総合体育大会が開催されましたが、こころんでも利用者とスタッフが、K作業所のバレーボールチームの応援団として参加しました。その中で、利用者の一人から「応援もいいけど、来年は選手として出場したいなあ」との意見がありました。その後トントン拍子に話が進み、利用者7名が賛同して、こころんバレーボールチームが結成されました。

皆さん、仲間と一緒にバレーボールを楽しみ心地よい汗を流しましょう。

日時：毎週水曜日 PM1:30～  
場所：泉崎村トレーニングセンター



活 動 報 告	❖ 今後の予定 ❖	編 集 後 記
4月21日 子育てフォーラム(白河)	6月26日 メンバーミーティング	こころんが開所して4ヶ月を経過しようとしています。利用者の方も少しずつ増え、毎日の忙しさに自分自身と対面する時間が少なくなっているような気がします。通常、人は自分が病気に罹らないとその健康の大切さを実感できず、また病気の方の心情を深く思いやることができないものです。7/24の菊池章夫さんのコンサートの空気に触れて、生きることの素晴らしさや人を人として思いやる大切さを改めて感じていきたいと思っています。 次号は、利用者的那須三斗小屋登山を特集予定しています。乞うご期待! (三 村)
4月22日 小規模作業所を明るくする全国大会(東京)	6月27日 きょうされん学習会・仙台	
4月28日 泉崎村民生委員見学	7月6日 チャーミさんのスリランカ・カレー料理教室	
5月8日 第3回定期総会	7月8日 健康教室	
5月13日 こみね会见学	7月20日 料理教室(棚倉町栄養士・藤田さん)	
5月18日 県精神保健センター公開学習会(就労支援)	7月24日 音楽の夕べ(菊池章夫コンサート)	
5月15日 講演会(精神障がい者のQOL向上について)	7月31日 メンバーミーティング 白河関まつり	
5月23日 障がい者スポーツ県大会	8月13~16日 お盆休み	
5月25日 白河地区障がい者就労連絡協議会総会	8月18日 ヨガ教室	
5月27日 県立矢吹病院外勤者見学	8月25日 第1回家族教室	
5月28日 きょうされん全国大会 ~30日	8月26日 医療相談(関先生)	
6月5日 県民運動推進会議県南・交流会(こころん)	9月4日 オータムフェスタ泉崎	
6月6日 パネルの会講演会(郡山)		
6月19日 那須三斗小屋ハイキング		

各教室や行事等については、月度予定表をご参照下さい。

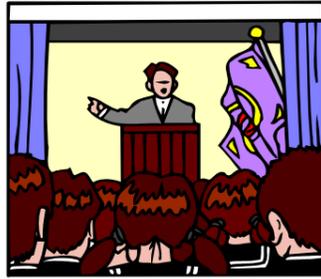


こころんから望む夕焼けの那須連峰

#### 今月の利用者の一言

もっとカウンセリングや会話の時間を増やして

# きょうされん第27回全国大会に参加して



精神保健福祉士 熊田 芳江

5月28日～5月30日、神戸国際会議において第27回全国大会が開催され、福島県支部代議員として、参加してきました。阪神淡路大震災から10年、見事に復興した神戸で、今また福祉施策が大きく変わろうとすると、今後の施策や方向性について、約3千人の参加者が熱く議論を交わした今大会でした。

その大きな変革の柱は、介護保険が5年目を迎える2005年の法改正に向けて、介護保険改革本部が厚生労働省内に設置され、その検討課題の筆頭に「障害保健福祉策との統合」が掲げられております。

また時を同じくして2月25日「小規模授産施設および小規模作業所の今後のあり方に関する懇談会」を設置し、定期的に懇談が行われ2005年にあたっては「地域における作業活動の場」と表記が加えられ、何らかの方向性が加えられる事になりそうです。障がい者福祉に重要な役割を果たしてきた作業所に制度差のない安定した運営が行えるような制度を確立することを提案していますが、しかし、いずれにしても既に作業所の補助金が2年連続してカットされるという厳しさであり、また今年度も知的障害者施設整備補助金カットがあり、楽観は許されない状況にあります。

大人にふさわしい生活を営むためには、お金は大切な課題、しかし障がい者が働く現状は大変厳しい状況にある中で、具体的に作業所等の給料に焦点を当て、当事者から行政までそれぞれの立場から論じ合い、当事者からは、頑張って作業所や授産施設で働いていても生活費でほとんどギリギリの生活、やっと就職してもこの不況で、一番先に首切られるのは効率の悪い障がい者であり、「もっと働きたい、もっと給料を増やしたい」と思いながら何とか頑張っています。

初めて「きょうされん全国大会」参加された方は大変熱心にまたが全国各地から参加し、大会を全体的には、神戸で開催された大変少なく、私を含めて大変



に参加し、大変な規模の大会で驚いたのと、積極的に参加し、特に障がいの重い車椅子の方楽しんでいただいていた様子であったのが印象的でした。こともあり西高東低の傾向があり、東北勢は大消極的でした。

西日本地区の施設では全体的に事業の内容も積極的で、実に様々な活動を展開しておりました。時には他の地域の活動から新しいヒントや刺激を受けて、今後の事業を繁栄させて行きたいと思っております。



# うつくしまふくしま県民運動推進会議・地域交流会

こころんを会場に、6月5日(土)『うつくしま、ふくしま』県民運動推進会議と地域交流会が開催されました。



(午前11時からの県民運動推進委員会議)

交流会には、県民運動推進委員、こころん利用者、一般参加者など約50名の方々が参加、「私は したい!」をテーマに各人のいろいろな夢や意見について活発に話し合いがされました。県内各地・各界にはいろいろな方がおられ、住み良い地域づくりを真剣に考えながら活躍されている様子が熱く伝わってきました。



当日、推進委員会議・交流会に先立ち、白河市在住の大平哲さんを講師にお招きし、参加者35名にてソバ打ち教室をしました。ソバ打ちは初めてという方が多く、ワイワイ・キャアキャア楽しくソバ粉をこねたり・打ったりしながら本格的な手打ちソバの作り方を教えていただき、みんな美味しくいただきました。



## 絵画教室

(月の第1・3木曜日)

月2回実施している絵画教室ですが、6月3日から石川町在住の鈴木節雄先生を講師にお招きして実施しています。鈴木先生は、県美展等に何度も入選されていて、この度の第51回県水彩画展においても最高賞である県水彩画会賞を受賞されました。利用者のための絵画教室ですが、毎回地域の方々3～4名も参加されています。先生からの「基本はデッサンから」「継続して描き続ける」の説明や優しく解り易い指導のもと、秋の展覧会出品を目指して楽しく実施しています。



## 家族教室のご案内

県南保健福祉事務所との共催により、ご家族を対象に下記の日程で家族教室を「生活支援センターこころん」で実施いたします。たくさんのご家族の参加をお待ちしております。(参加費無料)

回	日 時	内 容	講 師
1	8月25日(水) pm1:30～pm3:00	家族の立場から、家族にできること	石塚三雄 (つばさ会副会長)
2	9月15日(水) pm1:30～pm3:00	心の病の基礎知識と治療について	有賀 清 (有賀クリニック院長)
3	10月20日(水) pm1:30～pm3:00	家族の接し方、対応の仕方について	安藤ヒロ子 (星ヶ丘病院心理士)
4	11月24日(水) pm1:30～pm3:00	社会復帰と利用できる社会資源について	佐藤直樹 (埼玉厚生病院ソーシャルワーカー)
5	12月15日(水) pm1:30～pm3:00	交流会(家族会紹介、意見・情報交換)	

## 卓 球

## 健康教室

## ヨーガ



・日時: 毎月第2木曜日  
・場所: 泉崎村中央公民館体育館

・講師: 西巻 幸 先生  
・実施予定日  
7/21・8/18・9/29  
・場所: こころん地域交流室



## 料理教室 (毎週火曜日)

毎週実施している料理教室ですが、月1回は各市町村の栄養士さんから調理や栄養指導を受けています。



また、外国の方を講師にお招きして国際的な料理づくりにも挑戦しています。

(泉崎村・藤原栄養士さんよりの調理指導)



皆さんも参加されて、こころに潤いと感動を積み重ねていきませんか？

# 実習生受け入れ

こころんでは、広く実習生の受け入れをしています。  
5月27日、福島県立医科大学看護学部学生2名と  
ポラリス保健看護学院学生3名が実習に来られました。



## 実習生の感想

こころんでは、精神障がい者の日常生活に必要なことを支援するために、各教室（料理・健康・芸術等）・医療相談・社会資源の情報提供・電話相談などが行われ、地域での自立生活に必要な援助がされていた。また、各教室に地域住民が気軽に参加されていました。私達を含めた一般の方が、こうした交流に参加することで、障がいをもつ方が地域で生活することの意味や意義について、理解していくこと

につながっているのだと感じた。こころんでは、利用者に必要な生活支援だけでなく、関わりながら心のケアもしていて、このような場が増えると精神障がい者はもっともっと地域社会で安心して生活していけるのだと思った。（感想文より一部抜粋） 宮嶋純子(福島県立医科大学看護学部)

こころんは、精神障がい者の方の生活の一部になっているなと感じました。人として地域で受け入れている場所であり、地域社会との橋渡しの役割を持っているのではないかと思います。スタッフの方も明るく楽しい方ばかりで楽しく過ごすことができました。  
佐藤恵美(ポラリス保健看護学院)



## A作おじさん・Qちゃんコーナー



平成7年に障害者基本法が改正されてできた障害者手帳（保健福祉手帳）のことだね！

精神障がいを持つ方が審査の結果「一定の障害がある」と証明されると発行される手帳だよ！

本人がこの手帳を持つことでいろいろな福祉サービスが受け取ることができ地域での自立生活や社会参加に役に立つんだよ！

おじさん  
精神障がい者の手帳制度ってどういうものなの？



“ふ～ん そうなのか次回は申込や受けられるサービス内容を教えてね”



こころんの「手作り看板」が完成するよ！

利用者と一緒に少しずつ創作していたこころんの手作りカンパが、もうすぐ完成いたします。



よくガンバッテ作っているね！

## 支援センターこころん利用状況

(平成16年5月31日現在)

利用登録者 38名 (♥男性24名 ♡女性14名)

センター利用者

4月	5月	累計
90人	211人	301人

見学等来訪者

4月	5月	累計
177人	274人	451人

相談件数

	電話	面接	訪問	その他	計
4月	25	3	*	*	28
5月	12	7	3	3	25

## 「こころん発 事業のお知らせとご協力をお願い」

その1

**みんないいカン係** を始めました。

こころんにお越しの際は是非あき缶をお持ちください。  
\*ポイントは次のとおりです。



1. **すすぐ** すすがないと缶の中に残った成分にスズメバチやアリ、ハサミムシなどが集まり危険ですし、衛生的ではありません。
2. **わかる** 分けないと資源として活用されません。ジュースやビールなどの缶のみの回収とさせていただきます。
3. **つぶす** できましたらつぶしてお持ちください。



その2

**お中元のカタログ注文** の注文販売を行います。

収益金は次のために充てたいします。

1. こころん設立に伴う借入金の返済として
2. 精神障がい者就労支援の準備資金として
3. こころんの活動資金として



ご注文、詳細は別紙注文書をご覧ください。

## バザーのご協力について



こころんでは、11月20日～21日にバザーを開催予定しています。詳細については、次号にてご案内いたします。バザー出品についてのご協力をよろしくお願いいたします。